

ウトロ海域の海鳥と海域利用のあり方について検討の進捗状況

1. 検討会の開催状況

平成22年7月 知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海域利用検討会の開催

2. 検討会での合意事項

- ・ウトロ海域を利用する全ての関係者（各事業者、利用者）と海鳥や自然環境にとって好ましい状態の創出と継続を目的とする（Win-Win-Winの関係）。
- ・行政側が一方的に規制や誘導を行うのではなく、規制を作らずに海鳥保護と海域利用がうまく回って行く仕組みを目指す。
- ・行政機関、観光船事業者、シーカヤックガイド、漁業者、観光関係者など検討会構成員の全員が当事者という考えのもと協議を進めていく。
- ・検討会、現状認識や、調査をどのように進めるかという事を相談する場である。
- ・関係各者が色々な対策をとっていることを評価しながら、今後同様なことを実施するときにモニタリング調査を行いながら進める。
- ・モニタリング調査結果を基に、さらに色々な配慮をしていくことが、今回以降の議論の対象となる。

3. 関係行政機関による今年度の取組

- ・ケイマフリ等海鳥の生息・生態調査の実施（平成22年5月～10月）
- ・地元関係者・関係機関による合同乗船体験の実施（平成22年7月）
- ・利用者動向予備調査の実施（平成22年9月）

4. 今後のスケジュール

- ・11月末に第2回検討会開催予定
- ・来年度以降、①自然状況の把握と繁殖地再生のため、海鳥の生態モニタリング調査やケイマフリのデコイ設置、②利用機会や質の向上のため、魅力的な航路の検討や利用者へのアンケート調査、③海域の自然についてより知ってもらうための広報・普及啓発、などについて検討を進めていく予定